

月額たったの **125** 円から!



**激安**

# レンタルサーバーが ケーザイを救う

遅れてきた価格破壊の波がレンタルサーバー業界を席卷している。月額500円以下ながら高性能なサービスが急増しているのだ。これまで月額数百円で利用できるレンタルサーバーは、どちらかと言うと安かろう悪かろうというイメージが強かったが、最近の激安レンタルサーバーは、本当に安心して使えるのか？ なぜ安いのか？ 初めて使う初心者にもすすめられるのか？ 気になるところを探ってみた。

text: 水野 貴明 / 田口 和裕 / 佐々木 康之

opening photo: 津島隆雄 illust: 関根まさみち

安かろう悪かろうの時代はもう古い?!

# 激安レンタルサーバーの時代がやってきた!



月額500円以下で利用できる激安レンタルサーバー。「ちょっと使ってみようかな」と興味がわいても同時に不安もあるはずだ。レンタルサーバーを使ったことがない人にとっては、まずレンタルサーバーで何ができるのかわからないだろうし、激安と言っても本当に安いのか、安心して使えるのかといった疑問もあるだろう。まずは、これらの疑問点をまとめて解決しよう。

text: 水野 貴明

## 低価格かつ高機能なレンタルサーバーが急増

レンタルサーバーの低価格化と高品質化の流れが一気に加速している。かつてはレンタルサーバーと言えば、安くても月額2千~4千円前後が当たり前で、本誌146ページの「レンタルサーバーサービス一覧」を見ると今でもこの価格帯が多い。ところが、この1年で月額1,000円を切るサービスが増え、さらにここ数か月で状況が変わり、月額500円以下のサービスが急増し、今年7月には10件を超えている。

これまでも月額数百円程度で利用できるレンタルサーバーはあることはあったが、決して充実したものではなかった。だが、最近の激安レンタルサーバーは、ディ

スク容量は数百MBでCGIもOK、プログラミングツールもバッチリ動くといった高品質なサービスになってきている。

この流れを作ったのは2001年に登場した月額250円の「ロリポップ!」だと言われている。ロリポップ!がユーザー数を集めるに従い、他社も低価格路線に追随し月額500円を切るサービスが増え始めた。

低価格化の流れはさらに進んでおり、今年8月の時点でもっとも激安かつ高品質と言えるサービスは、ディスク容量300MB・CGI使用可能で月額125円(税込)のさくらインターネット「ライトプラン」だろう。同社のこれまでのサービスで最も安かった

のは、月額525円(税込)でディスク容量50MB・CGI使用不可というプランだったが、これと比較すると価格は約4分の1、ディスク容量は6倍となっており、コストパフォーマンスの差は一目瞭然だ。

かつては月額何千円もするのが当たり前だったレンタルサーバーが、このような安価で利用できるようになってきた背景には、複数の要因がある。価格決定の仕組みや値下がりメカニズムは、66ページの「激安レンタルサーバーの価格のカラクリ」で詳しく解説しているの、そちらを参照してほしい。

### 値下がり例・さくらインターネットの場合

旧サービス さくらウェブライト 《525円、50MB、CGI不可》

新サービス レンタルサーバー ライトプラン 《125円、300MB、CGI可》

可愛いドメイン <b>53種類</b> <small>よくあるお名前ドメインが豊富です。</small>	ディスク容量 <b>200MB</b> <small>200MB以内ならPHP、Perl、Pythonが利用可能!</small>	持ち込みOK! <b>独自ドメイン</b> <small>メールが別途必要です。</small>	プログラムを作る <b>MT3.0対応</b> <small>MOVABLE TYPE 3でウェブが作れます!</small>
ホームページ <b>簡単作成</b> <small>お好みのテンプレートから簡単に作成できます!</small>	メールマガジン <b>メールリスト</b> <small>お名前ドメインと連携して利用できます!</small>	CGI・PHP <b>MYSQL SENDMAIL</b> <small>CGI/PHP/Perl/Pythonが利用可能!</small>	画像も! <b>ファイルマネージャー</b> <small>お名前ドメインと連携して利用できます!</small>

激安レンタルサーバーのはしりと言われているロリポップ! ディスク容量200MB、CGI可で月額250円というのは衝撃的だった。

## Q1 激安レンタルサーバーを借りるとどんないいことがあるの？

激安とはいえ、わざわざお金を払ってまでレンタルサーバーを借りることのメリットは、自由度の高さにある。

ウェブサイトを作るためには、レンタルサーバーを利用する以外にプロバイダーの無償ホームページサービスや、ジオシティーズなどに代表される無料のウェブスペースを借りたりする方法などがある。

しかし、プロバイダーのサービスはあくまで「おまけ」のため、URLも決められていてサーバー容量も小さい。無料のサービスでは、ページに強制的に広告が表示

され、CGIもあらかじめ用意されたものしか使えないことが多い。単純なウェブサイトならそれでも十分だが、凝ったことをやろうとすると制限が足かせになってしまう。

それに比べて激安レンタルサーバーならば、少しの金額を払うだけで、利用可能なディスク容量はずっと多くなるし、CGIやデータベースなどもかなり自由に利用できる。また、独自ドメインでサイトを運営できるサービスもあり、できることが大きく広がっている。

今すぐ、自分の好きなドメイン名でプロ

グツールをカスタマイズして楽しみたいと思ったら、激安レンタルサーバーを借りるのが一番の近道と言える。

### 激安レンタルサーバーのメリット

- ・ハードディスク容量が大きい
- ・PerlなどのCGIやデータベースが使える
- ・サイトに独自ドメインが使える
- ・メールアカウントをたくさん作れる
- ・アクセスログを詳しく分析できる

## Q2 CGIとかUnixとかってぜんぜんわからないけど大丈夫？

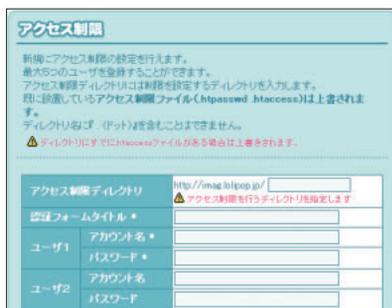
最近のレンタルサーバーでは、サーバーの設定やファイル操作など、ほとんどすべての管理が「コントロールパネル」と呼ばれる専用のウェブページからできる。詳しい専門知識がなくてもウェブサイトを管理できるので、過度の心配は無用だ。

かつてのレンタルサーバーでは、サーバーの設定を変更するためには、Telnetと呼ばれる端末ソフトで接続して直接Unixのコマンドを入力しなければならなかった。このため、サーバーの管理にはUnixについての詳しい知識が必要とされていた。

しかし現在は、サーバーの各種設定やファイル操作、CGIの設置からデータベース管理、メールアドレスの作成など、ほとんどすべての作業がブラウザでできる。

レンタルサーバー業者は競ってコントロールパネルの機能を充実させているため、レンタルサーバーはプロバイダーが用意したウェブスペースを利用するよりも簡単になってきている。

ただし、コントロールパネルの機能や使い勝手は業者によって大きく異なるので、サンプルとして公開されているページを試したり、試用期間を利用して実際に使ってみたりするなど、十分にチェックしておきたいところだ。



ロリポップ!のコントロールパネル。アクセス制限もブラウザのメニューを選んで入力するだけで簡単にできる。



FTPによるファイルの操作も、ブラウザ上で行えるので、わざわざFTPクライアントを用意する必要がない。

## Q3 今すぐにウェブサイトを作りたいんだけど？

レンタルサーバーの申し込みは、ウェブサイト上で行えるケースがほとんどだ。連絡先やメールアドレスを入力し、利用したいサービスを選択するだけで、簡単に申し込みを済ませることができる。

しかも、申し込みが終わるとすぐにIDやパスワードがメールで送られてくるため、申し込み直後からウェブサイトを作ることができる。

また、「お試し期間」が用意されている場合も多く、実際に使ってみて、本当に申し込

みをするかどうかを決めることもできる。いくつかのサービスを同時に申し込み、お試し期間にいろいろ試してから、実際に利用するサービスを決める、といったことも可能だ。

支払いも、クレジットカードで行える場合がほとんどなので、申し込んだときにウェブサイト上で直接決済できる。もちろんクレジットカード決済以外にも、銀行振り込みやコンビニ決済など、さまざまな支払い方法に対応しているサービスも多く、自分が最も支払いやすい方法を選択できる。

## Q4 激安レンタルサーバーと他のサービスって何が違うの？

激安と言われているレンタルサーバーは、“共用サーバー”と呼ばれるタイプが主流だ。“共用サーバー”とは、1台のサーバーを複数のユーザーで共有するもので、サーバーのCPUパワーやメモリーなどのハードウェアと、OSやインストールされたプログラム、CGIの設定などを共有することになる。したがって自由度は低くなるものの、価格はかなり安く抑えられる。その中でも“激安”と呼ばれるようなレンタルサーバーは、1台のサーバーを数百人のユーザーで共有しているのが普通だ。

レンタルサーバーには大きく分けて3つのタイプがあり、前述の“共用”タイプのほかに“専用サーバー”と“仮想専用サーバー”と呼ばれるものがあり、それぞれコストも異なってくる。

“専用サーバー”は、文字どおり丸々1台のサーバーを1人で独占して使えるため、自由度が高いが、当然価格もかなり

高いものになる。“仮想専用サーバー”は、“専用”と“共用”の中間にあたるもので、サーバーを複数のユーザーで共有する点では“共用”と同じだが、OSなどソフトウェア面では、あたかも専用サーバーのように運用でき、価格も中間に相当する。

もう1つ価格に確実に反映するのがサポートにかかるコストだ。以前は、激安レンタルサーバーといえば、事務所の空いている回線やサーバーを貸し出すといった、副業的に行っているところもあり、サポートがないに等しいという例もあっ

た。利用者側ではどうすることもできない、サーバー側のトラブルに関するものしか受け付けておらず、「わかる人だけどうぞ」という雰囲気があった。

しかし、最近のレンタルサーバー業者は、いかにコストを削りつつ、サービスの質を上げるか苦心しているところが多い。フリーダイアルの窓口を用意しているところこそまだ少数だが、メールによる問い合わせへの24時間以内の回答をうたっているところや、サポート専用のチャットルームを用意しているところもある。

### 激安共用サーバー

- ・数百人でギョウギョウ
- ・とにかく激安価格

### 仮想専用サーバー

- ・数人でノンビリ共用
- ・価格もそれなりに高い

### 共用サーバー

- ・数十人でキッチリ共用
- ・価格もほどほどに安い

### 専用サーバー

- ・1人で独占
- ・お金持ち向け高価格

## Q5 激安レンタルサーバーで楽しくプログライフを始めたけど、何か落とし穴はない？

激安レンタルサーバーを利用するうえで注意しておきたいのが、ほかの利用者の迷惑になるような行為を行うと、利用を継続できなくなる場合があるということだ。

とは言え、個人のサイトではよほど有名なサイトでなければ問題は起きないだろうが、最悪の場合はこういった事態もあり得ると知っておいて損はない。

ありがちなケースとしては、2ちゃんねるや大手のニュースサイトに自分のサイトが紹介されて、アクセスが一気に集中してしまうというものだ。

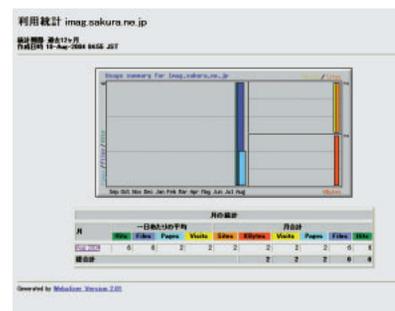
共用サーバーの場合、回線の帯域を1人のユーザーが独占してしまうと、他のユーザーが利用しづらくなるため、すぐにサ

ービスの停止につながり、自分のページが表示されなくなるといったことがある。

こういったアクセスの集中の目安となるのが転送量という数値で、これはウェブページにアクセスがあった際に、サーバーから読者へ送り出したデータ量を合計したものだ。サービスによって上限はさまざまだが、1週間で1Gバイトまでや、1か月で5Gバイトといった例がある。

転送量は、あくまでもファイルサイズを合計したもののため、仮に同じ訪問者数であってもページの構成によって大きく変わってくる。重い画像を多く配置したページと、テキストだけのページとでは、ファイルサイズが数十倍も異なる場合もある。

多くの人が訪れるのはうれしいが、余計な手間は避けたいと考えているなら、ページをできるだけテキスト主体の“軽い”構成にするようにを心がけるのも1つの手だ。



さくらインターネットのログ解析画面。月ごとや日ごとのアクセス数や転送量を、見やすいグラフで表示できる。

隠された価格決定の方程式を探れ!

# レンタルサーバー 激安の カラクリを暴く



ロリポップ!が「月額250円」というサービスを発表してから、レンタルサーバーの価格下落が目立つようになってきた。そして今年の7月にさくらインターネットがスタートさせた「月額125円」という価格設定は、さらなる衝撃を業界に与えた。以前とは比べものにならないほど急激に進んでいるレンタルサーバーの値下がり傾向は、単純に技術革新によるコスト削減や業務効率化努力の成果なのだろうか? それとも裏には何かとんでもないカラクリが存在するのだろうか?

text: 田口 和裕

## 激安の裏に潜む 4つのカラクリ

激安レンタルサーバーの低価格の理由を調べる前に、まずはレンタルサーバーを営業するうえで必要となる、つまりサービスの原価となる要素を考えてみよう。

右ページの図に示すようにレンタルサーバー事業のコストは「施設費」「サーバー費」「回線費」「人件費」の大きく4つの要素に分けられる。それぞれの内容を詳しく見ていこう。

### ・「施設費」

レンタルサーバーを運用するための場所を確保するのにかかる経費だ。すでにある会社や事務所の空きスペースに設置すれば場所代に関しては新たに支払うことはないが、電気代や空調費は

掛かってしまう。サーバーの設置にIDC(インターネットデータセンター)のハウジングサービス(サーバー専用の設置場所を提供するサービス)を利用すると、そのラックの使用料がかかる。

### ・「サーバー費」

文字どおりレンタルサーバーに使用するマシン自体のコストだ。コンピュータ本体のほかに、必要な周辺機器やネットワーク機材、ソフトウェアの費用などが含まれる。

### ・「回線費」

サーバーとインターネットを結ぶ回線の費用を示す。使用される回線の種類はさまざまで、IDCを利用している場合には事業者用のバックボーンと呼ばれる専用の基幹回線を示す。小さな事務所で営業しているところだと消費者向けのBフレックス回線を使用している場合もある。

### ・「人件費」

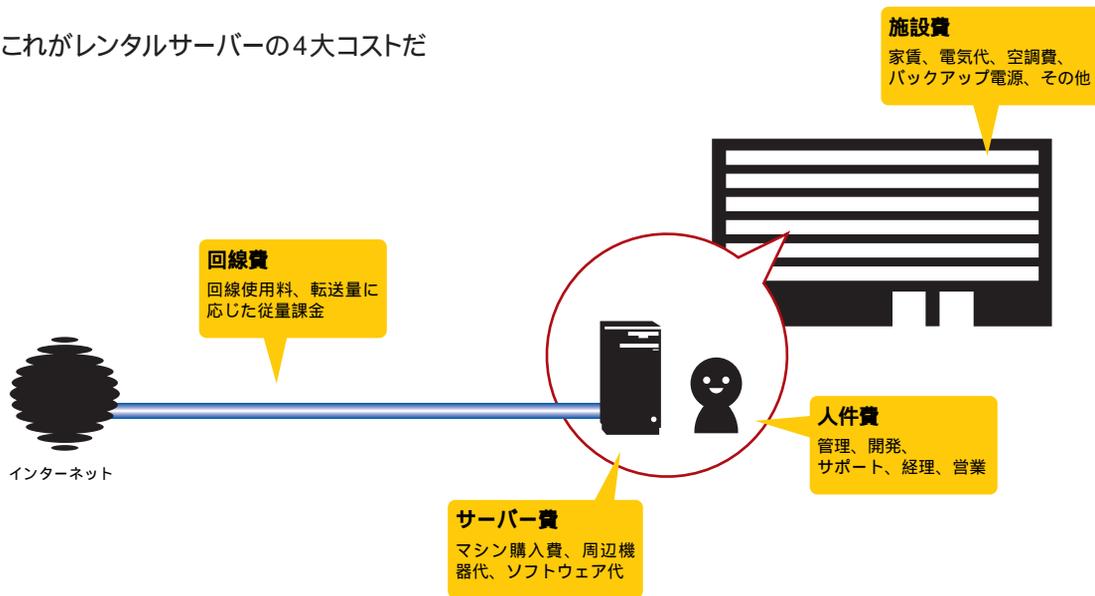
レンタルサーバーの管理と運用するのに必要な人件費だ。サーバーをトラブルなく運用するための監視や保守の役割だけでなく、トラブル対応などのユーザーサポートや、経理や営業などの中間部門、広告や宣伝などの営業活動にかかわる費用などもここに分類される。

以上の4つの要素がレンタルサーバーサービス事業を行うために必要となってくる主な経費である。

事業者はサービスを提供してユーザーから得る利用料からこれらの経費を支払った上で利益を出していかなければならない。

以上のことを理解したうえで最近の利用料の急激な値下げを見ていくと、原価が大幅に下がったのか、利益率を下げて利用者増を狙っているのかどちらかに思えてくる。さて実情はどうだろうか?

これがレンタルサーバーの4大コストだ



### なぜここまで安くなった？ 価格破壊の裏側の真実

先に結論を言ってしまうえば、レンタルサーバーの原価は確実に下がってきている。ただし、その理由は単純ではなく、テクノロジーの発達、企業間競争の激化、ブロードバンドの普及、ネット人口の増加などの複数の要因が重なっている。先に挙げた4つの分類に沿って、何が安くなっているのかを確認していこう。

「施設費」では、まずIDC使用料の大幅な下落があげられる。数年前までは1ラック数十万円/月といった価格設定が当たり前だったこの業界だが、最近ではかなり価格が下がっているようだ。

もう1つ、サーバーのスペースという点で重要なのが、ブレードサーバーと呼ばれる超小型サイズのサーバーマシンの普及だ。これまではマシン1台分しか収まらなかった大型のラックマウントケースに、ブレードサーバーなら10台が収まってしまうのだ。つまり、以前はラック1台につき10台程度しかサーバーが収納できなかったのが、ブレードサーバーならば100台以上も同じスペースに納めることができるの

だ。これだけで、サーバー1台当たりの施設費は、数分の1から数十分の1になっている。

「マシン費」は、目に見えて値下がりの激しい部分だ。サーバーマシンとは言え、使っているパーツは一般的なパソコンと変わらないものを使っており、これらに使用されているパーツの高性能化と低価格化は著しい。さらに、比較的成本のかかるメーカー製サーバーを使用せずに、秋葉原などで普通に売られているいわゆる自作PC向けのバルク販売のパーツを購入してきて、サーバーを自社で組み立てることでコストダウンを計っている業者もある。

「回線費」も、大きく値下がりしている。各IX(インターネット・エクスチェンジ)への接続の増強や、大手プロバイダー同士の相互接続も進み、回線の帯域と安定度も大きく向上し、値段も下がっている。

「人件費」はもっとも削減するのが困難なところだ。サービスの質を落とさずにコストダウンを図るためには効率的なアウトソーシングや、サポート体制の見直しなどの経営努力が必要となってくる。以前は大量に雑誌などに投下していた広告費用を削減し、集客をアフィリエイトプログラムに頼り効果を上げている業者もある。

このように原価の部分は全体的に確実に下がってきており、したがって料金も下落の方向にあることは間違いなく。とはいえ、あまりにも極端な値下げは、企業の戦略的な意図を感じざるを得ない。実際にある業者では「儲けは正直なところあまりない。将来的に市場が広がればよいと思っている」と語っている。

逆に価格を据え置き、下がったコストを利用してサービスの品質を向上したり、付加価値を増やすといった戦略をとる業者も存在する。全体的な価格下落の流れの中で、いかにユーザーが納得するサービスと価格を設定し利益をあげ続けていか。業者側の悩みも絶えないようである。



さくらインターネットが使用している超小型のブレードサーバー。4Uサイズのシャーシに10台まで搭載でき、1ラックへの最大格納数は140台。

## 「月額125円」で業界を席卷した さくらインターネットの低価格戦略とは？

さくらインターネット株式会社 執行役員 営業部 部長  
館野 正明氏

「月額125円～」という現在のところ業界でも最も安い部類のサービスを提供している「さくらインターネット」の館野正明氏に、低価格化の秘密を聞いてみた。

当社が他のレンタルサーバーサービスと異なるのは、すべてを自社でまかなっている点です。自社でIDCを運営し、バックボーン回線も自社で所有しています。

お客様に貸し出しているデータセンターのラックやサーバーなどの機材を、そのまま自社ブランドのレンタルサーバーにも使っているため、新たな機材や電気・空調費以外には大きなコストが発生しないのが強みです。

バックボーンの帯域は現在37Gbpsありますが、トラフィックにはまだかなり余裕があります。国内向けのトラフィックはIXやプロバイダーとの相互接続でまかなっていますが、これらも自社の回線なので、トラフィックが増えてもコストに影響はないです。ただし、海外への接続は従量課金の回線を使用しているため、海外からのトラフィックが増えるとその分コストがかさむが、今のところ問題にならない程度です。サーバーマシンも自社のオリジナル設計の低コスト・省スペースタイプを使っています。人件費の部分だけは他社と変わりませんが、設備費などでコストを抑えられた分、サポート



に費用を振り向けることができるので、低価格ながらフリーダイヤルでのサポートが可能なのです。

このようにコストを抑えることで低価格サービスを実現し、初心者の方に使っていただくことでレンタルサーバーの市場を拡大するのが、125円というサービスの狙いです。

## 激安サービスを実現した 意外な方法とは？

このように業界全体にコストダウンの傾向があり、激安レンタルサーバー業者が登場したという背景は整っているようだ。しかし各社の経営方針、保有リソース、収益モデルは当然のことながら大きく異なっている。そこで、便宜上レンタルサーバー事業を行っている業者を3つに分類してみた。もちろんこのモデルにあてはまらなかったり、一部が異なっていたりする業者もたくさん存在する。あくまで典型的な分類として見てほしい。

まず「IDC型」は、自社でIDC設備を所有しており、他社にサーバーをレンタルする業務を行っているので、レンタルサーバー業務においても施設費および回線費を社内原価で処理できる強みがある。膨大な設備投資を必要とするので新規参入のハードルが高いが、すでにIDC業務を行っているところが拡大戦略としてレンタルサーバー事業に参入するというパターンが見られる。

次に「SOHO型」だ。自社の社屋または事務所にBフレッツや企業向けのブロードバンド回線を引いて、サーバーを運営する、いわば家内工業的な形態である。新規参入業者が限られた資金を元に業務を

開始するときこのような形態をとることがある。しかし、設備も回線も専用のものではないため、大規模になるに従って、他のいずれかの形態へのシフトを迫られることもある。

意外な方法で激安を実現しているのが「IDC再販型」だ。他社のIDCからサーバーを一括レンタルし、ディスクスペースを分割して個人ユーザーにレンタルする形態だ。自社で設備を持たなくとも営業できるこのタイプは利点と弱点を併せ持つ。利点は、サーバーの運営管理を完全にアウトソースできることだ。人件費を節約したり、浮いた人的リソースをサービスの開発や宣伝などに振り向けたりできる。またIDCが

### 激安レンタルサーバー業者の3分類

	施設費	ハード費	回線費	人件費	代表的なサービス
IDC型	自社保有	メーカー/自作	自社保有のIX接続回線	自社負担	さくらインターネット
SOHO型	自社保有	メーカー/自作	自社保有の光回線等	自社負担	XREA.COM
IDC再販型	IDC費用に含まれる			自社負担	ロリポップ!

ら多数のサーバーを借りることによってレンタル費用のボリュームディスカウントも可能となる。この形態は、料金設定の際に利益確保のシミュレーションさえきっちりできていれば比較的风险少なく参入できるので最近特に増えている。

弱点は、設備の運用を完全に他社に依存しているためリスクヘッジが重要な点になってくることだ。サーバーをすべて1つのIDCに委託していた場合、仮にそのIDCが何らかの理由で営業を止めると、自らのレンタルサーバーの運営がすべてストップしてしまうからだ。



IDCはサーバーを設置する環境としては理想的だ。

## まだ行ける？ もう限界？ 激安サービスの未来

技術の進歩や業務の効率化による必要経費の低減、またサービス自体への需要の高まりもあり、今後も激安のサービスに限らずレンタルサーバー全般の低価格化と品質向上は進むだろう。

ただし激安価格に関して言えば、すでに底値まで来た感もあり、これ以上の値下がりには期待できないだろう。代わりにこのあたりの価格帯は、今後サービスの充実度で激しい競争が行われることが予想できる。現にこの価格帯では、以前では考えられなかったデータベース機能が使えたり、初心者でも管理しやすいようにコントロールパネルの機能を充実するなど、着実にサービスは向上している。

「月額50円ぐらいのサービスもできないわけじゃない」と語る業者もいるよう

に、さらなる低価格化も決して不可能というわけではないだろう。前述のように必要なコストは下がっているのだから、ユーザー数さえ集まれば採算を取ることが可能と思われる。仮にレンタルサーバー市場を拡大するためのマーケティング費用と考えれば、大きな利益を得られなくてもサービスを提供する価値もある。しかし、月額50円以下になると利用料金の徴収にかかるコストと売り上げのバランスがとれず、有料で行う意味がないという。

今後の激安レンタルサーバーでは、初心者でもレンタルサーバーをどんどん活用できるような各種サービスが増えていくと考えられる。コントロールパネルがさらに使いやすくなったり、メールのウイルスチェックやスパム対策機能が充実したりすれば、レンタルサーバーはもっと楽しくなるだろう。

## 激安の波が高価な専用サーバーにも!?

株式会社NTTPCコミュニケーションズ ネットワーク事業部  
岸 康浩氏

レンタルサーバー業者としては最大手のNTTPCコミュニケーションズの岸康浩氏に、激安サーバーの影響と業界の今後の展望をうかがった。

1999年にWebARENA Suiteを始めた当時は、月額3,500円というのはレンタルサーバーの価格破壊だったんですよ(笑)。そのころは米国と比べてあまりに日本のレンタルサーバーが高すぎました。だから米国のサービスを使っている人に、かなり乗り換えてもらいました。ただ現在の激安価格に関しては正直なところうちでは真似できないと思っています。設置場所、回線、保守管理、サポート、営業経費などお客様に安心して使ってもらうためのコストは削れないので、むしろ無理して激安にすると信頼性が低下し、ブランドイメージが下がること

方を懸念しています。それに、激安レンタルサーバーが登場したことの影響は、ほとんどないです。若干のユーザーが激安に乗り換えたことにはありますが、全体的なユーザー数は前年度よりも大幅に増えています。むしろ、激安サーバーがレンタルサーバーの市場自体を広げていると見ています。やはり激安サーバーを利用するユーザー層と我々のサービスのユーザー層はかなり異なっているように感じます。我々のユーザーの7割は中小規模の法人で、そういう方々の期待を裏切らないように信頼性を一番の優先事項に置いて品質をキープしていかなければなりませんし、クライアントPCのスペックや回線速度もあがっているのだから、サーバー側のスペックもあげなくてはなりません。ですから現時点で激安プランを作ることはまったく考えておりません。



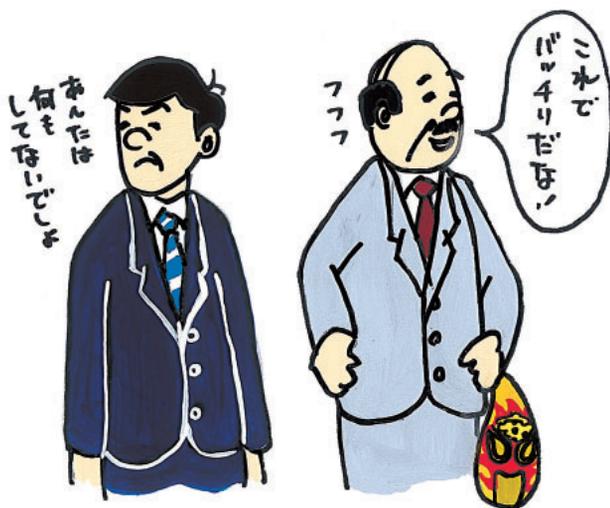
やるとしても200円とかそういうレベルまでは絶対に落ちませんね。

ただし、上位の専用サーバーの方の料金見直しは考えています。実際のところ専用サーバーの方は月額4万～5万円から20万円を超えるようなサービスもあるので、こちらの方が値段の下げ幅は大きいんですね。1万円単位で落ちていきますからね。低価格化の波は専用サーバーにも来ているので、それには対応していくつもりですし、それによってもっと専用サーバーのユーザーが増えればいいと期待しています。

<http://web.arena.ne.jp/suite2/>

あなたにぴったりの激安レンタルサーバーサービスはこう選べ!

# 激安レンタルサーバーの選び方の五箇条



ただ安いだけで選ぶと、自分がやりたいと思ったことが実はそのサーバーではできないと後から判明して悔しい思いをすることになる。レンタルサーバーを引っ越すのは激安であろうとなかろうとかなりの大事になる。そんなことになるのを避けるためにも、激安レンタルサーバーを借りる前に、気を付けるべき点をしっかりチェックしておこう。

text: 佐々木 康之

## 第1条

### まず何をしたいのか



レンタルサーバーを借りてまでウェブサイトを開きたいというくらいだから、きっと何か譲れないポイントがあるはずだ。たとえば「独自ドメインでブログを運営したい」や「CMSで大規模なウェブページの管理を楽にしたい」といった目的のほかに「自分で作成したオリジナル動画を配信したい」といったものもあるだろう。ここに挙げただけでも、必要とする機能やサービスは多岐にわたっており、すべての機能に対応した激安レンタルサーバーはまずない。したがって、レンタルサーバーを選ぶためには、まず初めに自分がどんなページを作りたいのか、何が目的なのかを明らかにすることが重要なポイントだ。

## 第2条

### 独自ドメイン名は?



激安レンタルサーバーの場合、独自ドメイン名を使用できるのは、実は少数派だ。独自ドメインを使えるサービスであっても、月額料金が割高に設定されていることがあり、必ずしも激安でなくなってしまう場合もある。独自ドメインが利用できない場合は、あらかじめ用意されたドメインから1つを選び、そのサブドメインが割り当てられることが多い。かといって、サブドメインが不自由かという点、そうでもない。中には100種類以上のドメインを用意している事業者もあり、競争が激しく個人での取得が難しいアイドルの名前のドメインは、意外に需要が多い。

### ブログ・CMSツールを使うならここをチェック!

メジャーなブログツールの Movable Type は CG(Perl)のみで動作するため、多くの激安サーバーに設置できる。同様に Blossom もデータベースは不要だ。だが Nucleus や WordPress などのツールは、PHP というスクリプト言語とデータベース(MySQL)を必要とする。PHP の場合は「激安」でも対応していることが多いが、MySQL はまだ少ない。ほかにも

XOOPS や TYPE3 などの CMS ツールでもデータベースは必須だ。また、tDiary という Ruby に対応した国産ブログツールの普及とともに、以前は「激安」ではあまりサポートされなかった Ruby に対応するサーバーが増えてきた。なおブログツールに関しては 141 ページに一覧表があるので、そちらを参考にしたい。



Ruby に対応するさくらインターネットのサービスでは、コントロールパネルからボタン1つで tDiary がインストールできるようにしている。

## 第3条 ディスク容量は？

激安レンタルサーバーのディスク容量は千差万別で、下は12MBから上は1GBまで幅広い。ただし容量が多ければよいというものではなく、自分の使い道に合った容量のサービスを選ばないとお金のムダだ。

たとえばブログならば100MBもあれば十分で、それ以上の容量があっても使い切ることはないだろう。一方、オリジナルのCGなどの大きな動画を置きたいとなると、必要な容量は一気に大きくなり、それこそ1GBを使い切ることだってあり得る話だ。

繰り返しになるが、自分の目的を見極めることが激安レンタルサーバーを使いこなす秘訣だ。

月額料金によるディスク容量の増減例

	A社	B社	C社	D社
月額料金	80円	125円	380円	500円
ディスク容量	12MB	300MB	100MB	1GB



## 第4条 コントロールパネルの使い勝手は？

多くの共用レンタルサーバーは設定・管理を、ブラウザからアクセスする専用のコントロールパネルで行う。パスワードの変更やメールの設定、アクセスログの取得、アクセス制限、ディスク使用量の確認など、すべてブラウザから行える。

ただし、コントロールパネルの充実度は事業者によって千差万別だ。パスワードの変更くらいが関の山のところもあれば、ファイルのアップロードやCGIプログラムのインストール、ウェブメールへのログインなど設定以外の作業もブラウザから簡単にできるサービスもある。

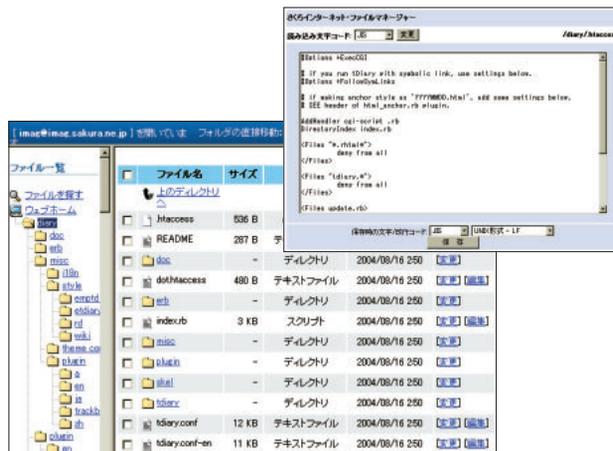
機能が限られていると使い方が限られるので注意したい。たとえば、アクセス制限をかけたくても、コントロールパネルにそのメニューがないと設定がとても面倒になる。事前にサービスのFAQやコントロールパネルのサンプルページなどで機能の有無を確認しておこう。

### アフィリエイトと激安レンタルサーバーの関係

ASP型ブログサービスの多くは、アフィリエイトを禁止していたり、または特定のアフィリエイトしか認めていないことがある。レンタルサーバーの場合は、それが“激安”であっても、ほとんどのサービスがアフィリエイトに関して特に制限しておらず、本格的にアフィリエイトを行いたい人には最適だ。ただし激安サーバーの多くがアダルトコンテンツを禁止しているため、アフィリエイトもアダルト以外のものに限られる。

激安レンタルサーバー業者自身がアフィリエイトプログラムを行っている例も多い。“激安”の業者はコスト削減で営業経費も削っており、それを補うためのアフィリエイトだが効果はかなり高いという。たとえばロリポップ!の場合、アフィリエイト経由での売り上げの50%が報奨金となる。つまり1人がアフィリエイト経由で加入しただけで、初期費用の半額の約1,575円が収入となるのだ。これだけで月額料金の半年分がまかなえる計算だ。

アフィリエイトと激安レンタルサーバーは、非常に良好な関係にあるといえそうだ。



ファイル操作をウィンドウズのエクスプローラ形式のメニューから行うこともできる。テキスト形式のファイルなら、別ウィンドウで開いて編集することも可能だ。

インストール先のフォルダ	<input type="text" value="http://imsg.sakura.ne.jp/"/>
管理用パスワードを半角英数字で指定してください。省略された時は0123です。	<input type="password" value="0123"/>
ファイルロック形式を選んでください。	<input checked="" type="radio"/> no <input type="radio"/> symlink関数 <input type="radio"/> mkdirlnk
メッセージ投稿があった時に、mailで通知するかを選んでください。	<input type="radio"/> 指定無し <input checked="" type="radio"/> メール通知する
過去ログ機能を使うかを選んでください。	<input checked="" type="radio"/> no <input type="radio"/> yes
過去ログ1ファイルあたりの最大件数を指定してください。	<input type="text" value="400"/>
ホスト取得方法にgethostbyaddr関数を使うかを選んでください。	<input checked="" type="radio"/> no <input type="radio"/> yes
<input type="button" value="送信する"/> <small>(インストールには、少々時間がかかることもあります)</small>	

コントロールパネルでいくつか項目にチェックを入れてクリックするだけで、掲示板などのCGIがインストールできるサービスもある。



## 第5条 メールサービスは？

サービスごとに一番大きく異なるのがメールに関する機能だろう。メールサービス自体がないところや、別料金のオプション扱いになっているところから、逆にメールアドレスを無制限に増やせるところまでさまざま。その他で重要なのは、メールボックスの容量とウイルスチェック機能だ。容量に関しては、メールとウェブでディスクを共用しているサーバーもあり、ウェブ用に目一杯データを押し込むと大きなメールを受信できないことがある。ウイルスチェックは、最近のネットワークにおいては少しでも安心してメールを使ううえで必須事項となっている。

メールアドレスの管理

メールアドレスの追加設定と、ウェブメールへのログインはこちらです

メールアドレス	サイズ	容量制限		
imag@imag.sakura.ne.jp	0B	300MB	変更	削除
impress@imag.sakura.ne.jp	0B	300MB	変更	削除
internet@imag.sakura.ne.jp	0B	300MB	変更	削除
magazine@imag.sakura.ne.jp	0B	300MB	変更	削除
postmaster@imag.sakura.ne.jp	0B	300MB	変更	削除
server@imag.sakura.ne.jp	0B	300MB	変更	削除

メールアドレスの追加

メールアドレス  @imag.sakura.ne.jp  
※追加するメールアドレスと追加ドメインも同様に入力されます。

パスワード

(確認のためもう一度)

追加する

事業者によるメールサービスの機能差は大きい。1つしかメールアドレスが取得できないものから、無制限にアドレスを作成できるものまである。

### 月額500円(税抜)以下の激安レンタルサーバーサービス一覧

サービス名	コース名	料金(税込)			環境					サーバーの仕様				
		初期費用(円)	月額費用(*1)	最低契約期間	転送量制限	ディスク容量	バックボーン	独自ドメイン	サーバーあたりのユーザー数(*10)	OS	独自CGI	Perl以外の対応言語	データベース	
bambino(バンビーノ)	CGIありサービス	0	525(*5)	1年	8GB/月	200MB	1Gbps	×	600(*6)	Unix		PHP, Ruby	×	
	CGIなしサービス		262.5(*5)			100MB					×	×		
CHAT-JP.COM	エコノミープラン	3150(*4)	515	3カ月	なし	50MB	35Gbps		100	Linux		PHP, Ruby	×	
COOL ONLINE	COOL正規会員	3,150	525	1年	なし	300MB	1Gbps	×	非公開	Unix		PHP, Ruby, Python	×	
DCNホスティングサービス	DCNDメイン・エコノミー	490	290	6カ月	なし	5MB	4.1Gbps	×	250	Unix		×	×	
	DCNDメイン・スタンダード		490	1年		10MB								
isweb	iswebベーシック	0	525	1年	なし	300MB	1Gbps	×	非公開	Unix		PHP, Ruby, Python	×	
poke1.jp	poke1.jp	0	165	1年	なし	200MB	非公開	×	非公開	Unix		PHP	×	
XREA.COM	広告免除サービス	0	400	1カ月	1GB/日	500MB	500Mbps		500	Linux		PHP, C	MySQL, PostgreSQL	
0ad-space.com	12MB	1,700	80	1年	なし	12MB	1.1Gbps	×	250以下	Linux		PHP, Python	(*9)	
	25MB		150	6カ月		25MB								
	50MB		250			50MB								
	100MB		400	3カ月		100MB								
さくらインターネット	ライトプラン	1,000	125(*5)	3カ月	なし	300MB	100Mbps(*2)		350	Unix		Ruby Python	×	
	スタンダードプラン		500			1GB						110		PHP, Ruby, Python
ネットパンフレットレンタルサーバー	ホスティング10	Q(*7)	525	1年	なし	10MB	100Mbps		150	Unix		PHP	(*9)	
ロリポップ	サブドメインプラン	3,150	315	1カ月	なし	200MB	非公開	×	60Q(*6)	Linux		PHP, Ruby	MySQL	
	独自ドメインプラン													
ブチケント(*3)	ブチケント	2,100	380	1カ月	2GB/週	100MB	1Gbps	×	50Q(*6)	Linux		PHP	MySQL	
パーソナルAgeホームページ		525	315	1カ月	なし	100MB	非公開	×	非公開	Linux		PHP	×	

\*1 月額費用は最低契約期間で契約したときの1か月あたりの料金 \*2 サーバーごとの帯域

\*3 サービステスト期間中 \*4 キャンペーン期間中は無料 \*5 年額一括払いのみ \*6 編集部調べ \*7 独自ドメイン費用は別途2,625円

\*8 追加メールアドレスはオプション \*9 別料金の追加オプション \*10 1台のサーバーを何人のユーザーで共有しているか

そのほか知っておくとちょっと得するポイント

バックボーン

この場合はレンタルサーバーを設置しているデータセンターや事務所と、上位のネットワークや他のネットワーク事業者との接続回線の帯域を合計したものだ。

一般的には、この数値が大きいほど多くのデータを送り出せることになるが、サーバー自体の性能や、ネットワークへの接続形態などにより実行速度は常に変化するため、目安程度に思っておいたほうがよい。

転送量

最近では具体的な転送量の制限を設けていないサービスが多いが、転送量が多すぎるとサービスが止められたり、上位サービスへの移行を求められたりすることは実際にあることだ。個人サイトであっても、かなりのアクセスがあるサイトを激安サーバーに移す場合は、事前に事業者と相談することをおすすめする。場合によっては便宜を図ってくれることもある。

アクセスログ

あらかじめログ解析ツールをサーバーにインストールしてあり、アクセス分析ができるサービスが多い。どれだけのヒットがあったかだけでなく、どのページのヒットが多いか、どの検索エンジンからどんな検索語でユーザーが訪れたのかといった情報を分析できるものもある。また、一部には生のログファイルを取得できるサービスもあり、自前の解析ツールで細かな分析を行うことも可能だ。

管理方式	アクセスログ		メール				その他			
	生ログ	解析ツール	サービスの有無	アカウント数	IMAP対応	ウイルススキャン	設置環境	加入数	運営事業者名	URL 問い合わせアドレス
コントロールパネル	x	x		1	x		自社社屋	非公開	(株)インターリンク	http://www.eraberumail.jp/ caocao@bambino.cc
x	x	x		5~30	x	x	自社社屋	2000	あくしずねっと	http://www.chat-jp.com/ webmaster@chat-jp.com
コントロールパネル			x	-	-	-	データセンター	40万人 (無料版含む)	楽天(株)ポータル 事業カンパニー	http://www.cool.ne.jp/ cool-members@infoseek.co.jp
x	x	x		1	x	x	データセンター	250	ディーシーエヌ(株)	http://dcn.to/ info@dcn.ad.jp
コントロールパネル			x	-	-	-	データセンター	160万人 (無料版含む)	楽天(株)ポータル 事業カンパニー	http://isweb.www.infoseek.co.jp/ isweb-b-info@infoseek.co.jp
FTP	x	x		1	x	x	非公開	非公開	(株)ASP インターナショナル	http://poke1.jp/ inq@poke1.jp
SSH、コントロールパネル				100			自社社屋	7500(うち有料 ユーザーが2万)	(株)デジロック	http://www.xrea.com/ info@xrea.com
コントロールパネル	(*)9			1(*)8		x	データセンター	非公開	0adWEBサービス	http://www.0ad-space.com/ info@0ad.org
コントロール パネル --- シェル,コントロール パネル				無制限		x	データセンター	5500	さくら インターネット(株)	http://www.sakura.ne.jp/ info@sakura.ad.jp
FTP		x		5	x	(*)9	自社社屋	非公開	(有)ハウデオキタ	http://www.netpamphlet.com/ support@jp.netpamphlet.com
コントロール パネル				1 --- 無制限		x	データセンター	非公開	(株)paperboy & co.	http://lolipop.jp/ support@lolipop.jp
コントロール パネル		x		1	x		データセンター	非公開	(株)シーサイドネット	http://petit.kent-net.jp/ info@petit.kent-net.jp
FTP	x	x	(*)9	1	x	(*)9	非公開	非公開	ネットエイジ(株)	http://www.netage.ne.jp/ info@netage.ne.jp

180種類以上のドメイン名から自由に選択

# bambino

(URL) <http://bambino.cc>

インターリンクのbambino(バンビーノ)は、あらかじめ用意された180種類以上ものドメイン名の中から好きなものを選んで使える共用レンタルサーバーだ。独自ドメインは管理の間や料金の面から踏み切れないが、ほかにないユニークなドメイン名が使いたいというユーザーにはおすすめだ。



## メールもウェブも利用OK

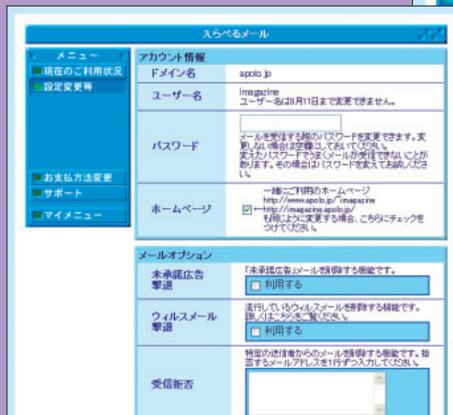
### 初心者向けにCGIなしプランも用意

インターリンクでは従来、メールとホームページのサービスを別々に提供していた。この2つのサービスをまとめて利用できるように、今回新たに「bambino」を開始した。

bambinoには、CGIの利用の有無で2つのプランが用意されている。この2つのプランはディスク容量が異なり、「CGIなし」プランが100MB、「CGIあり」プランが200MBだ。価格はディスク容量に反映して、CGIなしプランは、CGIありプランに比べて半額に抑えられている。

bambinoの最大の特徴は、以前からインターリンクが提供している「えらべるメール」「えらべるWeb」同様、180種類以上も用意されたドメイン名の中からユーザーが好みのものを選んで1つだけ設定できることだ。「かわいい系」「おちゃめ系」「クール系」などの系列で分類されている充実のドメイン名は、独自ドメインを取るほどではないけれどユニークなドメイン名を使いたいユーザーにぴったり。気に入るドメイン名を容易に見つけられるだろう。

また、ドメイン名の豊富なラインナップのおかげで、余計なサブドメインの付かないシン



bambinoの設定画面(インターリンクのサービス共通)では、迷惑メール受信拒否機能の設定やディスク利用状況の確認が行える。余分な設定項目を省き、シンプルな構成だ。

ブルなアドレスが使えるメリットもある。しかも、利用できるドメイン名は今後も増えていく予定だ。なお、独自ドメインには対応していない。

## 迷惑メール受信拒否とウイルスチェックを標準搭載

イタリア語で子供を意味する「bambino」をサービス名に付けていることからわかるように、bambinoではレンタルサーバー初心者の利用をとくに意識しており、ホームページ関連の設定機能は省いている。その代わりに、ユーザー側で設定をする必要のない迷惑メール受信拒否機能や簡易ウイルスチェック機能を

標準で組み込むほか、メール転送機能(1件)やメール送信時の1通あたりの容量制限を8MBにまで対応するなど、メール機能に配慮がなされている。

このほか、bambinoを使うと、インターリンクのサービス加入者全員に提供しているネットワークストレージ機能「マイぼしえっと」も無料で利用できる。マイぼしえっとは、各ユーザーのディスク容量とは別に、最大1GBのデータを3日間保存できるディスク領域で、bambinoユーザーはこれを自由に使えるため、メールでは送受信できないサイズの大きなファイルを友人とやり取りするような場面に役立つ。

なお、8月29日から9月末日までの申し込みに関り、1か月分の無料期間が付いてくる「ciao! ciao(チャオ!チャオ!)キャンペーン」を実施している。1年契約の料金で13か月分利用できるので、申し込みなら今が断然お得だ。

問い合わせ先

株式会社インターリンク

TEL 03-3985-3711

提供されるドメイン名の例

- 【かわいい系】 lala.cc / pooh.cc / pipi.cc / mikan.cc / daisuki.cc
- 【おちゃめ系】 apolo.jp / penta.jp / anone.jp / dora.cc / paoz.net
- 【クール系】 7even.jp / 1ne.cc / ac-dc.jp / nihonjin.jp / killerqueen.cc
- 【名字系】 satou.cc / fujiwara.cc / matsui.cc / iida.cc
- 【地名系】 akasaka.cc / shibuya.cc / shinjuku.cc / ebisu.cc
- 【星座系】 otome-za.net / the-aries.net / the-leo.com / the-aquarius.net  
など180種類以上

各プランの料金と機能比較

	CGIなし	CGIあり
利用料金(年払い)	1,315円	6,300円
初期費用	無料	
ホームページディスク容量	100MB	200MB
独自CGI対応: Perl 5.6.1, Ruby 1.6.8	-	-
PHP対応	-	-
メールアカウント	1個	
メールディスク容量	20MB	
メール1通あたりの容量制限	8MB(送信時)	
ネットワークストレージ (マイぼしえっと)	1GB(保管期間3日)無料	

1 プレミア付きのドメインを選択した場合は最大525円まで年額契約料金に加算

快適なサーバー環境と無料電話サポートで初心者でも安心

# さくらインターネット レンタルサーバー

(URL) <http://www.sakura.ne.jp>

さくらインターネットが提供する「さくらのレンタルサーバ」は、月額換算で125円から利用できる共用サーバーサービスだ。独自ドメインを取得しても月額換算275円からと非常に低価格。それでいて電話サポートも用意するため、初めてレンタルサーバーを利用するユーザーにも安心だ。



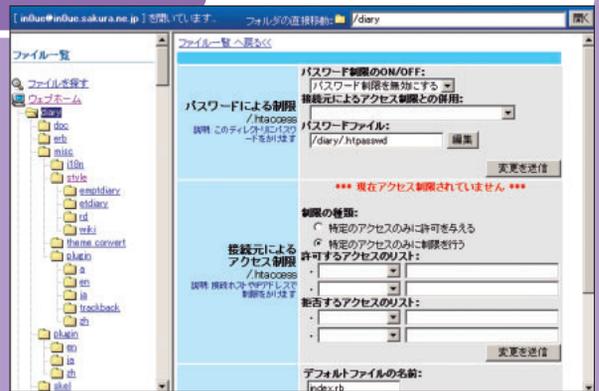
## 大容量バックボーンと 充実したメール機能が魅力

さくらインターネットの共用レンタルサーバーサービスには、「ライト」「スタンダード」「プレミアム」の3種類のプランがある。ライトプランがシェルログイン機能など上級者向けの機能を省略しているほかは、ディスク容量や1サーバーあたりの収容ユーザー数が各プランの違いになる。

サーバーOSは全プラン共通でFreeBSDを採用。もともと企業や事業者向けに低価格の専用サーバーを広く提供し、豊富な導入実績を持つさくらインターネットだけあって、サーバー環境や設備には絶対の自信を誇る。共用サーバーであっても、専用サーバーと同じバックボーン(帯域37Gbps)を利用し

ているし、それでいて無料で電話サポートを受けられるのは、データセンターからサーバー、バックボーンまですべてを自社で運営しているさくらインターネットならではの。

機能面で特徴的なのは、全プラン共通で使えるウェブメール機能やIMAP対応、APOPOP、POP before SMTP、SMTP Auth、128bitの暗号化送受信の対応、スパムメールフィルタなど、メール関連機能の充実だ。さらに、スタンダードプランとプレミアムプランではメールリングリストが標準で利用できるなど、メール利用の比重の高いユーザーにもうれしい仕様となっている。



コントロールパネルには、エクスプローラ感覚でファイルを管理できる「ファイルマネージャー」をはじめとしたツールが組み込まれている。ドメイン名の取得や管理もコントロールパネルから行える。

できる。もちろん、独自ドメインの利用も可能だ。また、同じディレクトリーに最大20個まで異なるドメイン名を割り当てられる複数ドメイン設定に対応している。ドメイン名ごとに違うページを表示するマルチドメイン機能は、現在試験運用中となっている。

「さくらのレンタルサーバ」は独自CGIの利用に加え、初心者にも使いやすいようにコントロールパネルからの操作で掲示板やウェブアンケートなどを簡単に設置できるインストーラーを用意している。このほか、ファイルのアップロードやダウンロード、編集、属性変更、アクセス制限、パスワード設定などファイルに関するたいの操作ができる「ファイルマネージャー」をコントロールパネルに組み込んでおり、FTPツールを使うことなく容易に作業できる。

2週間の試用期間を用意しているのでもまずは使ってみるといいだろう。9月30日までは、初期費用が無料になるキャンペーンを実施中だ。

提供されるドメイン名の例

- 標準:** sakura.ne.jp
- 選択:** 以下より2種類
- halfmoon.jp / ivory.ne.jp / opal.ne.jp / topaz.ne.jp / mints.ne.jp / mail-box.ne.jp / sakuraweb.com / jpn.org / x0.com / rgr.jp / rdy.jp / skr.jp / websozai.jp / 2-d.jp / tank.jp / razor.jp / rulez.jp など30種類

## ドメイン名は標準で3つ提供 複数割り当ても可能

ドメイン名は「sakura.ne.jp」のサブドメインが1つと、あらかじめ用意されている30種類のドメイン名の中から選べるサブドメインを2つ、合計3つのサブドメインが標準で利用

各プランの料金と機能比較

	ライト	スタンダード	プレミアム
利用料金(月払い)	-	500円	1,500円
利用料金(年払い)	1,500円	5,000円	15,000円
初期費用	1,000円	1,000円	1,000円
ディスク容量	300MB	1GB	3GB
利用可能なドメイン数	20個まで( sakura.ne.jp のサブドメイン1つと、30種以上から選択できるサブドメイン2つの合計3つ付属)		
支払い方法	クレジットカード、自動口座振替、銀行振り込み、請求書払い(コンビニ / 郵便局払い込み / 銀行振り込み) 2		
シェルログイン( telnet/ssh )	x		
UNIX コマンド自動実行( CRON )	x		
独自CGI対応: Perl( 5/5.8 )、Ruby、Python			
PHP対応	x		
MySQL	x		
メールリングリスト	x		
メールリングリストのポスト数制限	-	1000通/1時間	3000通/1時間
複数ドメイン設定		20個まで	
マルチドメイン機能( 試験運用中 )	リダイレクトのみ	リダイレクト / エイリアス	

1 9月30日まで初期費用無料キャンペーン実施中 2 請求書払いでは、発行手数料315円が別途かかる

問い合わせ先

さくらインターネット株式会社  
TEL 0120-775-664  
TEL 06-6265-4832

Kent-Webの豊富なCGIをお手軽・簡単に設置

# プチケント

(URL) <http://petit.kent-net.jp>

“1日10円”を謳うレンタルサーバーが登場した。しかも、チャットや掲示板など豊富なCGIを簡単に設置できる機能が提供されている。これらの機能はCGI配布サイトとして有名なKent-Webのものだ。サーバー運用は、“快適で親切”と評判のシーサイドネットが担当。両者の強力タッグで生まれたのが「プチケント」だ。



## 入会・解約がとても簡単

### お手軽さがうれしいサービス

フリーウェアやシェアウェアのCGI配布で有名なKent-Webとシーサイドネットが業務提携して「プチケント」という格安のレンタルサーバーサービスを開始した。15,000名の現役ユーザーを持ち、安定性とサポートが評判のシーサイドネットが始めたサービスだけに興味津々、大いに期待してしまう。

もちろん、その期待は裏切られていない。プチケントは格安の料金はもちろん、契約や解約がとても簡単で手軽さが大きな特徴だ。利用料金は1年契約で3,650円(月額換算で300円強)。1か月単位の利用も可能で、その場合でも月額380円だ。気軽に入会して辞めなくなったらずに辞めるといった使い方も問題なし。“レンタルサーバーの契約”というと敷居が高くて構えてしまうかもしれないが、プチケントのカジュアルなお手軽感覚はレンタルサーバー初心者にもピッタリだ。

## CGIの自動インストールと

### 快適なサービス環境を提供

サービスの内容が「安かろう悪かろう」では本末転倒だ。しかし、プチケントはレンタルサーバー玄人でも十分満足できるレベルのサービスを提供している。Kent-Webと手を

コントロールパネルで好きなCGIを選ぶと設定画面が表示される。ここでカスタマイズも可能。CGIはサーバーで自動生成される。



### 提供予定の CGI の種類

掲示板(16種類) / チャット(8種類) / アクセスカウンター(5種類) / フォームメール / ショッピングカート(2種類) / アクセス解析 / URLナビゲーター / アンケート(2種類) / リンク集 / 日記(2種類) / 電子おみくじ / マジカルバナナ(言葉の連想ゲーム) / 画像ランダム表示

組んだということは、豊富なチャットや掲示板のCGIがほぼ全種類存分に使えるということ。しかも、その設置の簡単さといったら驚くばかり。コントロールパネルにログインして、好きなCGIを選んだらわずか「3クリック」でOK。基本的な設定はサーバー側であらかじめ行われているので、ユーザーは悩む必要はない。それを自分のホームページに設置するのも、HTMLの基本的な知識さえあれば簡単だ。そのうえ、設置したCGIは、文字や背景の色などをコントロールパネルで自分流にカスタマイズできてしまう。

また、プチケントが優れているのはCGIだけではない。シーサイドネットが誇る充実のサービス環境がそのままプチケントでも継承さ

れているのだ。だから安価なレンタルサーバーにありがちの「遅い」「重い」といったストレスとは無縁。シーサイドネットの事業者向けサービス「CS SERVER Professional」と同じサーバーを使っているため、快適な環境が保証されている。さらに、サーバーのハードディスクを二重化してデータの保全に努めるほか、ウイルスメール対策機能も追加料金なく標準で使える点は見逃せない。

現在プチケントは、無料で使えるプレオープン期間中で、この期間に申し込んだユーザーは、9月に予定している正式サービス開始後の初期費用は無料。利用料金のみで継続して利用できる。このチャンスを見逃す手はない。難しいかもと敬遠していたCGIも、プチケントを利用すれば難なく設置できる。さあ、プチケントでCGI使いの仲間入りだ。

問い合わせ先

株式会社シーサイドネット

[info@petit.kent-net.jp](mailto:info@petit.kent-net.jp)

### 提供されるドメイン名の例

[petit-kent.com](http://petit-kent.com) / [petit-kent.net](http://petit-kent.net) / [petit-kent.org](http://petit-kent.org) / [touch.jp](http://touch.jp) / [itaiti.jp](http://itaiti.jp) / [pinch.jp](http://pinch.jp) / [childs.jp](http://childs.jp) / [pote.jp](http://pote.jp) / [pucchi.jp](http://pucchi.jp) / [kent.tv](http://kent.tv)

独自ドメインは非対応

### 利用料金

	プチケント
利用料金(年払い)	3,650円
利用料金(月払い)	380円
初期費用	2,100円
ホームページディスク容量	100MB
転送量制限	2GB / 1週間
PHP対応	
MySQL対応	
メールディスク容量	10MB

機能満載でコストパフォーマンスの高さが魅力

# ロリポップ! レンタルサーバー

(URL) <http://lolipop.jp>

月額263円から利用できるロリポップ! レンタルサーバーは、2001年11月のサービス開始以降、常にユーザーのニーズに応じて機能を拡充。現在では11万超のユーザーを抱えるまでに成長した。なかでもCGIテンプレートやショッピングカート機能など、ホームページ作成支援の機能の充実には目を見張る。使える機能満載のレンタルサーバーだ。

## ホームページ作成支援やコミュニティー満足度の高い「付加価値」を提供

ロリポップ! レンタルサーバー(以下ロリポップ!)は、料金の安さだけが特徴ではなく、初心者からレンタルサーバーを使いこなす人まで十分に満足できる付加価値が魅力の共用レンタルサーバーだ。

たとえば、ホームページを初めて作る人向けに、ホームページ作成支援機能「ホームペロリ」が用意されている。無料ホームページスペースでもテンプレートなどが用意されているが、ロリポップ!なら広告は入らないし、そのうえ用意されているテンプレートデザインは見栄えのするものばかり。しかも、掲示板やメールフォームなどの設置もクリック1つでできてしまうお手軽さだ。デザインのカスタマイズもホームペロリのサイト上から簡単にできる。

また、ロリポップ!ではコミュニティーサイト「ロリポビルズ」を用意している。サイト全体を街に見立て、ロリポップ!ユーザーのホー

提供されるドメイン名の例

babyblue.jp / boo.jp / chips.jp / chu.jp / cutegirl.jp / daa.jp / egoism.jp / fem.jp / girly.jp / gonna.jp / jellybean.jp / lolipop.jp / lomo.jp / lovesick.jp / main.jp / moo.jp / oops.jp / pupu.jp / raindrop.jp / sub.jp / sunnyday.jp / whitesnow.jp など63種類



ロリポップ! ユーザーのためのコミュニティーサイト「ロリポビルズ」サイトの宣伝もここでバッチリ。

ホームページ作成支援機能「ホームペロリ」は、好みのデザインを選ぶだけで、必要なファイルを自動的にリストアップ。そこから必要なものだけダウンロードすればいい。



ムページをあらゆる絵柄の家アイコンで表現。見た目にも楽しい。ウェブ素材を扱うサイトを集めた「マテリアストリート」やオンラインショップを集めた「ショップストリート」など、現在は12のカテゴリー別ストリートで街が構成されている。ホームページを作ったらロリポビルズで宣伝しよう。

## 追加料金なしのスタンスで

### 一步先行く新機能を続々開始

基本的なレンタルサーバーの機能を網羅しているロリポップ!は、1年前からMovable Type(ブログ)やXOOPS(ポータルサイト構築ソフト)に対応し、インストールマニュアルを完備している。また、最近では新たにメールリストとメールマガジンの機能を追加し

#### 利用料金

利用料金	サブドメイン / 独自ドメイン	1
1か月契約		315円
3か月契約		945円
6か月契約		1,575円
12か月契約		3,150円
初期費用	2	3,150円
ディスク容量		200MB

1 価格はサブドメインプラン、独自ドメインプラン共通(ドメイン管理費用は含まない) 2 女性、学生、サーバー転載、ムームードメインから申し込んだユーザーは初期費用が半額になる



ショッピングカート機能「Color Me Shop! mini」を使えば、必要な項目を入力するだけでショッピングサイトができる。

た。どちらもそれぞれ専用アドレスを5個(1個につき100件のメールアドレスを登録可)作成できる。さらに今後は、サーバーに置いたファイルをウェブ上で直接編集できるウェブエディター「woopa!」が追加される予定だ。

このほか、ユーザー支援機能として、申し込んですぐに掲示板やチャットなどを設定できるレンタルCGIの「CGI CANDY BOX」や、必要な項目を入力するだけでクレジット決済対応のショッピングサイトが作れる「Color Me Shop! mini」などを標準で提供している。これら多彩な機能を用意しつつも、追加料金なしで使えるのは驚きだ。

なお、ロリポップ!には、あらかじめ用意された63種類のドメイン名から好きなものを利用できる「サブドメインプラン」と、独自ドメインの利用に対応した「独自ドメインプラン」の2種類のプランがある。ドメイン取得サービスの「ムームードメイン」も提供しており、年額693円から独自ドメインが利用できるので、ロリポップ!の入会と同時に独自ドメインを取得するのもおすすめだ。

問い合わせ先

株式会社paperboy&co.  
support@lolipop.jp  
<http://lolipop.jp/> お問い合わせフォーム/ライブヘルプあり



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)